

第3回懇談会（H28. 1. 31）の振り返り

（各委員の発言から抜粋）

＜市民アンケートについて＞

◇内容

- ・市民参加を積極的にしてきた方々にはもちろん、無関心層の人たちの意見もどのように取り込んでいくのかが重要だと考える。
- ・市政のどのような点に問題意識を感じているのかを問う設問があるといいのではないか。
- ・議会と市長の関係や、議会に対して市民がどう期待するかは必須の項目と思われる。
- ・議会に関するアンケートについては、行政がなかなか内容に踏み込めない部分もあるので、議会側とすり合わせの上、今回のアンケートの中で一緒に行う。

◇時期

- ・5月には懇談会の議論も進んでしまっていると思うのでもっと早めに結果が出た方がよいのではないか。→4月に速報という形で中間発表をしたい。（事務局）

◇方法

- ・無作為抽出型では、武蔵野市在住の方々の意見しか取り上げることができないので、公募型をやるなら、市内の企業やグループに働きかけたり、市報を利用したりして周知の方法も工夫してほしい。

＜自治基本条例の必要性について＞

- ・「平和の寄与」「コミュニティの尊重」は武蔵野市においても重要なポイントなので取り入れたらどうか。
- ・「危機管理条項」を入れるとなると福祉や教育などその他の分野もとなってしまうので必要ないのではないか。
- ・行政を縛る目的だけでなく、市民自治を促すような内容にすることが必要である。
- ・法務体制や行政組織の編成、市長の所管事項なども踏み込んだ議論ができるのではないか。
- ・理念や具体的な制度に加えて、武蔵野市が市民参加を先駆的にやってきて、今も進んでいるということアピールできる内容を組み込めたらいいと思う。
- ・何を大事にしているのか、より伝わるようになるべくコンパクトな条例にしたほうがよいのではないか。
- ・民主主義の観点から、政策形成過程と事後評価のどちらも入れることが重要である。
- ・町内会などとは別に、機能的にできた市民グループの持つ重要性が今後高まると思うので、それを位置づけるものを入れてほしい。
- ・懇談会として、自治基本条例の必要性については、必要であるという方向で大方の合意を得た。
- ・策定する骨子案のレベル感については、盛り込むべき項目が網羅され、かつ、考え方等の説明が付されている（例で言うと鶴ヶ島市）ものというイメージで行きたい。